

読む



ビタミン

地域に根ざす工務店

・リフォーム店を元気にするビタミンです。

2019年10月号

今月のひと言

柳の下にいつも泥鰌はいない

【読み】 やなぎのしたにいつもどじょうはいない

【注釈】 一度柳の下でドジョウが捕れたからといって、いつもそうだと
は限らないということから、一度そこで幸運を手に入れたからと
いってまた同じように幸運が得られるわけではないということ。

さて「時効警察」「結婚できない男」「シャーロック」。

テレビドラマ新番組のタイトルですが、これらは一度ヒットした過去の番組。

視聴者からの熱望があったとしても、明らかに焼き直し。

日本の大会社には「失敗が許されない風土」が漂っていると聞きますが、
ナメテますよね。

大変影響力のあるテレビ局が、新しい価値を提供できないのですから。

これも昨年ノーベル賞を受賞された本庶 佑(ほんじょ たすく)さんの
弁ではありませんが、日本の「終わりの始まり」の一つかもね。



はんソク コツつぼ

骨壺、ではありません。販売促進のコツとツボ、でございます。私の販促人生約40年の中で5千枚以上、様々なツールのラフを書いてきました。それだけあれば、多少は役立つものもあると思います。ちょっとしたアイデアや見せ方等ヒントになればと、ご紹介していきますので真似できることろはどんどん真似してくださいませ。

VOL.9

悩んだらシンプルに！

今やチラシはワードや Excel があるので誰でも作れるようになりましたが「いいチラシ」と呼べるモノはとて少ない。それはなぜか？ 苦手なので、他社のチラシ参考になんとなく作ってる。時間がないので、とりあえず作ってる。上司やスタッフがそれぞれいろいろ言うので、とにかくそれぞれの意見を全部ぶつこんでる！！ 結果、反響がない、と。

そんなお悩みの方、以下のチラシを真似してください。シンプルで分かりやすく、訴求力あります。

ターゲットをはっきりさせる

何をするか、読まなくても目に入るの分かる

※この段階で興味のない人は下を見ない。つまり、このタイトルまわりでターゲットが興味を持つか持たないかが決まってしまう。

いつ、どこで・・・などの概要はタイトル下に見やすくまとめる

凸凹しないように、エッジを揃えるとストレスなく読める

メリットやベネフィット。ここを読む人はターゲットだけ。なので、しっかり参加するメリットを訴えましょう。

言い切れない事、信頼性の裏付けなどは QR コードで

近所の地区センターにあったチラシ▶

対人援助にかかわる人のための心を学ぶ講座⑧

地域に心の学び場を「認知症介護にかかわる人のためのストレスケア～認知行動療法による～」
NPO 法人横浜上大岡臨床心理センター

2019年度対人援助にかかわる人のための「心を学ぶ講座」

認知症介護にかかわる人のための ストレスケア ～認知行動療法による～

【日 程】	2019年10月23日（水曜日） 18：30～20：30
【講 師】	藤澤 大介 先生 慶應義塾大学医学部准教授 慶應義塾大学病院 精神科医
【受講料】	3,000円
【開催場所】	ウィリング横浜 研修室（市営地下鉄・京急「上大岡駅」隣接オフィスタワー内）
【対 象】	対人援助に関わる方とそれを目指す方（資格不問）
【定 員】	70名
【問合せ先】	TEL：045-846-1822 E-Mail：office@kamiookasinri.org


認知症の介護の現場では、相手の困った行動が理解できず戸惑うことがあります。認知行動療法の考え方で客観視してみると、行動やきっかけとなる状況からその背景にどのような気持ちがあるかを推測することが出来るので、問題行動の意味を理解して適切な対応がとれるようになります。とはいえ、たとえ適切な対応ができたとしても、相手の気持ちばかりを大切に対応していると介護者にはストレスがたまり心身ともに疲弊します。介護する人もされる人もなるべく負担が少なくなるようにセルフケアの方法も合わせて学んでいくことが大切です。

藤澤大介先生は認知行動療法の第一人者であり、老年期臨床の専門家でもあります。介護にかかわる人だけでなく、ストレスを抱えがちな対人援助にかかわる方にも是非受けていただきたい講座です。

参考著書：「ワークで学ぶ認知症家族・介護者のためのストレスケア 認知行動療法のテクニック」（金剛出版）

タイトル・内容については講師の都合等により変更になる可能性があります
詳しくはホームページ <https://kamiookasinri.org> をご覧ください

【主 催】 NPO 法人 横浜上大岡臨床心理センター
【後 援】 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
横 浜 市 健 康 福 祉 局



不易流行

「いつも歴史を変えるのは『素直な問いを発する』ことから」

4月12日、東京都立大山高校（板橋区）の体育館に、200人ほどの新入生が集まった。入学して初めての「哲学対話」が始まる。約10人ずつ24の円に分かれた。「何が始まるの？」。きよろきよろ見回す生徒もいる。それぞれの円に、すでに対話を経験してきた上級生が1人、進行役として加わった。2年生の五十嵐晃架（おつか、16）も、その一人だ。

他人を否定せぬルール

キセキの高校

②

都立大山高校の体育館に、対話する新入生たちの声が響く（東京都板橋区）



て」、ほぼ毎月、同校での対話に参加してきた。五十嵐は「1分間、じつ説明会で、五十嵐のグループのテーマは「なぜ「こ」と声を絞り出した。英語を学ぶのか」になった。経験から「考えること」た。進行役は、質問を挟が対話で最も大切だと学んだら論点を整理したりして場を回す。新入生の発言はなかなか続かならおう。五十嵐は「そん

対話、自分の言葉で存分に

な発想は1年前なら出てこなかった」と話す。対話を担当する大山高の養護教諭、関本智美（32）は「生徒たちは対話を通じ、自分の言葉を増やしていく」と言う。考え、沈黙してもいい。否定されずに、存分に話す。その経験が、生徒の目に輝きを与える。大山高が哲学対話を放課後の活動として始めたのは2016年秋。19年3月まで校長だった小山秀高（61）が導入した。小山は東京都教員生活を始めた1990年代から、学力が低い学校を渡り歩いた。原点は都立赤坂高校（現大田桜台高校）。当時は中国残留孤児2世が多かった。言葉が満足に通じないストレスが暴力を生み、退学につながった。担任なのに生徒を引き留められない無力感。小山は「こうしたい」と強く思った。13年春に校長として赴任した大山高は、受験偏差値では都立高で最低レベルだ。小山は、まず生活指導を徹底した。だが生徒のまなざしを輝かせるには、何か足りない。模索していた時に出会ったのが哲学対話だ。問い、語り合うシンプルなやりとり。参加する生徒の表情は一変した。授業では不真面目な生徒が、対話では真剣に意見を言う。自信を失っていたかのような生徒が生き生きと語り出した。「本当にうちの生徒なのか」。小山は驚いた。17年、参加者の1人が公立大に現役で合格。同校では30年ぶりともいわれる。「勉強ができないんじゃない。伸びる力はある」。小山が実感した瞬間だった。敬称略

工務店さんがいるところなら...

日本全国東奔西走どこへでも!

呑んで騒いで時折仕事。

よいどれ 早川大二の



渡り旅日記



NPO法人 **元気に暮らす会**

七十五合目 始めの一步を踏み出したぞ! の巻

令和元年9月1日(日)、我ら元気に暮らす会の記念すべき第一回目イベントを行いました。

今回はそのご報告をさせていただきます。告知は地区センターやケアプラザ等の公共機関5ヶ所に計150部のチラシ置き。それから「はまかぜ」「タウンニュース」という地域メディア2誌での告知。あとは、スタッフからの口コミです。結果は来場21名(地域メディアの集客数が一番多く、**地域メディアは効果がある**と実感)アンケート満足度99%、相談3組。すぐのリフォーム見込み客はいませんでした。今回の目的は認知度向上とファンづく。その目的は達成できました。いろいろな成果、気付き、課題はありましたが、僕としては次に繋がる改善点を見いだす事ができたことが一番の収穫でした。

9月1日(日)横浜市社会教育コーナーにて **参加無料・先着順 「住み続けセミナー」開催**

住み慣れた我が家で 予防などに最適です。 楽しく・安心に住み続けたいけれど、不安を 持っている方も多いは 会)も開催(予約制。 ず。そんな方に向けて リフォームや住替え 「住み続けセミナー」 が9月1日(日)に開催さ れます。(先着順30名 セミナーでは、福祉 環境アドバイザーが 病氣・介護を遠ざけて ハツラツと暮らすため の準備をわかりやすく お伝えします。今後の 暮らし方に役立つ必聴 のお話です。

また「元気になる FOLK SONGを 歌おう」も美声・懐か しい歌を 一緒に歌いま しょう。音楽は認知症

日時: 9/1 (日) 13時30分~16時30分
スケジュール: 受付13時15分、オープニング13時30分、セミナー13時45分、フォークを歌おう14時45分、個別相談会(ご予約の方のみ)15時30分
会場: 横浜市社会教育コーナー (横浜市磯子区磯子3-6-11) アクセス: JR磯子駅徒歩4分 ※駐車場なし
主催: 問合せ: 特定非営利活動法人 元気に暮らす会 ☎090 (2745) 7935

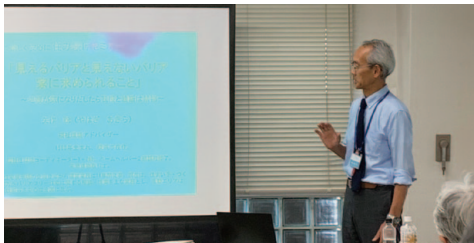
社環境アドバイザーが 病氣・介護を遠ざけて ハツラツと暮らすため の準備をわかりやすく お伝えします。今後の 暮らし方に役立つ必聴 のお話です。

また「元気になる FOLK SONGを 歌おう」も美声・懐か しい歌を 一緒に歌いま しょう。音楽は認知症

日時: 9/1 (日) 13時30分~16時30分
スケジュール: 受付13時15分、オープニング13時30分、セミナー13時45分、フォークを歌おう14時45分、個別相談会(ご予約の方のみ)15時30分
会場: 横浜市社会教育コーナー (横浜市磯子区磯子3-6-11) アクセス: JR磯子駅徒歩4分 ※駐車場なし
主催: 問合せ: 特定非営利活動法人 元気に暮らす会 ☎090 (2745) 7935

▲はまかぜ

タウンニュース▶



▲評価された矢作氏の「住み続けセミナー」



▲全員が歌ってくれた「フォークを歌おう！」



▲お客様が心を開いて相談してくれた「相談会」

住みなれた我が家で、ずーっと安心して住み続けるための備えとは?

1 元気に 楽しく 安心に **住み続けセミナー**

病氣・介護を遠ざけ、ずっと生きがいを持ち、ハツラツと暮らすために、何をすべきか? どんな準備をすればいいの? これからの暮らしに役立つセミナーです。

講師: 福祉環境アドバイザー 矢作 聡

2 元気に暮らす会・相談員の 住まいと個別相談会 予約制

介護に配慮した住環境、リフォームや新築、住替え、気になる費用のことなど、あなたのモヤモヤをスッキリと解消します。

相談員... 福祉環境アドバイザー 矢作 聡

3 楽しい ちょっとだけでも元気に暮らす 歌おう

FOLK SONG を歌おう

フォークソングと一緒に! 音楽は認知症予防、脳の活性化、身体機能の改善等に効果的です。

日時 ● 9月1日 13:30~16:30
会場 ● 横浜市社会教育コーナー (横浜市磯子区磯子3-6-11)
定員 ● 30名 (先着順)
参加費 ● 無料
スケジュール
受付 13:15
オープニング 13:30
セミナー 13:45
休憩 14:30
フォークを歌おう 14:45
個別相談会 15:30 ~ (ご予約の方のみ) 16:30

会場ご案内地図

〒216-0011 横浜市磯子区長原1-10-20-102
TEL:090-2745-7935 Email:info@genki-kurashi.jp
※ホームページ、たまたま制作中

告知チラシ 公共機関に配布する条件として営利に繋がるものはNG。チラシの作り方と、告知手段を変えればつくり手の皆さんとコラボして見込み客を発生させることができます! きっと。

元気に暮らす会、まだまだよちよち歩きですが是非ともご期待くださいますよう、よろしくお願いいたします。